

## 本城資源化センター建設事業について

### 1 事業の背景

#### (1) 本城かんびん資源化センター（平成9年度～令和7年予定）

- 容器包装廃棄物（かんびん、ペットボトル、紙パック・トレイ）の選別施設
- 福祉施策の一環として、障害者を雇用
- 老朽化に伴い、操業停止のリスクや作業環境の悪化が課題

#### (2) 日明粗大ごみ資源化センター（平成4年度～令和2年度）

- 粗大ごみを破砕し、鉄類を回収する施設
- 新日明工場建設に伴い令和2年度に廃止  
→ 不燃粗大ごみの処理を一時的に民間委託化
- 受託可能な民間業者は1社しかなくリサイクル体制として脆弱

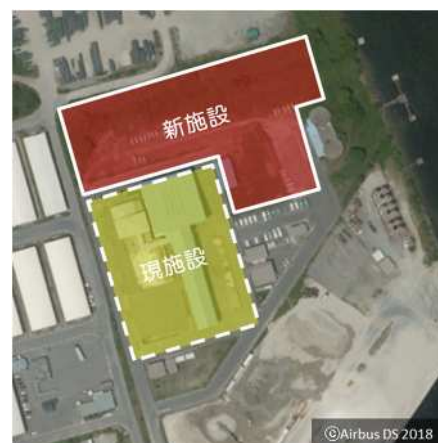
### 2 事業実施方針

#### （仮称）本城資源化センターとして合築

- 安定したごみ処理態勢の確保とリサイクル推進
- 作業環境の改善
- 合築によるコスト削減

### 3 事業概要

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 事業場所 | 八幡西区洞北町7番10号<br>本城かんびん資源化センター隣地<br>(環境局用地) |
| (2) 事業期間 | 令和4～7年度                                    |
| (3) 建設費  | 4,975百万円                                   |
| (4) 事業方式 | DBO方式(予定)<br>容器包装廃棄物の選別については<br>障害者雇用を継続   |
| (5) 運営期間 | 20年間                                       |



### 4 スケジュール

- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| (1) 令和4年度   | 公共事業評価、要求水準書策定、落札者決定 |
| (2) 令和5～7年度 | 契約、設計・建設、竣工          |
| (3) 令和8年度   | 供用開始                 |